

「日高連ニュース」と「高齢期運動リポート」 全国の高齢期運動・中央団体結ぶ

全国の高齢者運動連絡会・中央団体を結ぶ「日高連」(A4判・8ページの)が、第145号から第160号まで16号。いずれも手作り紙ですが、前紙は各団体の情報交流の場、後紙は運動の理論と実践を提起する書として、幹部諸氏に活用していただきます。

加えて、「高齢期運動リポート」(A4判・8

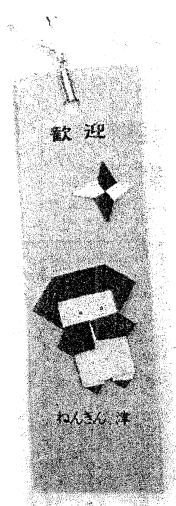


「リポート」では、書評「なぜ和食は世界遺産なのか」(永山久夫著。朝日新書。カットは永山氏画)もあります。以下、わずかですが、紙面を覗いてみます。

◇「茨城県高連」「東海

年金者組合津支部では全国から参加される皆さんに「おいでなして」の心をこめた一品を!との思いで「忍者のしおり」を作りました。

当初、二、三人で暇見での作業は大変でした。しかし、「支部ニュース」で、この取り組みと意義



第2原発廃炉求めるQ6
A署名。(10月)

【鳥取県高連】第19
回県大会。生活保護引下げ許さない。(11月)

【新潟県高連】劇映画
「日本の青空Ⅲ」日本の
青空」制作支援の会
(12月)

【滋賀県高連】30回目
の「後期高齢者医療制度
は今すぐやめろ」怒りの
集会」(2月)

【山形県民会議】第1
回山形県高齢者大会に5
00人。(3月)

三重県と津市のこと 「犬の伊勢まいり」も

日本高齢者大会は、通常、開催地名で表しますが、今大会は「津」ではなく、「三重」となっています。「津」が1文字で、知られていない地名と思われる一が理由ですが、「津」を語れば「三

津」(古く、内外航路の重要津だった築前の博多津、薩摩の坊津、伊勢の安濃津の3港をいう)で、初代藩主・藤堂高虎(慶長13年||1608年)は、「戦いのない時代を創るべく、東奔西走して

「北勢、中勢、伊賀・名張、松阪・紀勢、伊勢・志摩、東紀州」の政治・経済・文化・観光の要になつていきます。

今年、62回目(20年)との伊勢神宮式年遷宮で賑わいますが、「犬の伊勢参り」(凸版)もあつたほど、江戸時代のお参りはおおらかだったことが伺えます。

戦後、こんなことも。伊勢労音が創立20周年記念に委嘱した混声合唱曲「伊勢 志摩」が19

参加の皆さんに連れられて旅立つことを思うと、暑さも忘れて楽しい作業になりました。

「あら可愛い」の声を聞きたいと、仲間の絆も深まり、取り組みの中で新組合員も増えました。(年金者組合津支部 飯田千恵子)

大会参加申込数 8月31日現在

地 域	2日間延べ数
北海道	2人
青岩宮秋山福	22 6 16 8 40 30
茨橋群埼千東神新長山	80 6 60 80 106 354 160 80 100 60
富石福	60 38 12
岐阜愛三	46 150 ☆450 1,616
滋京大兵奈和歌	70 ☆200 ☆350 40 39 90
鳥島岡広山	22 14 46 100 10
徳香愛高	80 90 80 34
福佐長熊大宮鹿	30 2 2 8 20 30 10
沖 中	4 113
総 数	5,066人

【皆さんに注意】

- ①「参加ワッペン」を胸に貼ってください。
- ②1日目の色違いです。
- ③健康保険証、自宅連絡先(電話・住所)など、メモを携帯していただく。
- ④常備薬、お茶や水は各自ご持参を。
- ⑤問合せなどは、本部
- ⑥不明の件は、要員へ。
- ⑦「物産展」は、2日目
- ⑧販売やチラシ配布、カンパなどは、大会実行委員会が認めた場合に限りです。(大会本部事務局)

80年12月21日、伊勢市内で発表されました。全4章中、第2章「お伊勢まいり」は「ええじゃないか!」を繰り返す。この曲を含めた演奏会

今年も全都道府県から猛暑と参院選越え

今年も全都道府県から猛暑と参院選越え

昨年の高松大会が、9月の暑さを避けて10月開催となった後、今大会は恒例の9月に、7月参院選、8月猛暑に、8月後半から9月の努力で、延べ5000人超に、「参加費の

工面が大変」の声に、代表参加の工夫もあり。そして、今年も47都道府県から参加が予定されています。うち、目標達成は11府県。前大会地の四国ががんばりました。加えて、次回と次回開催地の富山と山形の目標達成が輝きます。(8月末現在||組織部)